

受験番号

令和2年度 一般選抜 I期 入学試験問題

現代文 (50分)

注意事項

1. 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で7ページです。印刷不鮮明などの箇所があった場合は申し出てください。
3. 答えは解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 使用する問題用紙と解答用紙の指定欄に**受験番号** (数字) を必ず記入してください。
5. 解答作業には必ず**黒の鉛筆** (HB以上) または**シャープペンシル**を使用し、ボールペンや色鉛筆などを使ってはいけません。
6. 試験終了後に、解答用紙、次に**問題冊子**を回収します。問題冊子の余白や裏面は、**下書き**に使用してもかまいません。
解答用紙は破ったり、汚したりしないでください。
7. 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、静かに待っていてください。

— 1 —
次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

わたしたちが生きる世界には意外に灰色が多い。^①舗装された道路、コンクリートの建物、さまざまな配管、電柱に電線……都市生活とりまく環境の大部分はこの色で占められている。公共空間だけでなく、オフィスや自宅でも多くの製品にグレーが使われる。特別な意味をもち、特別な感情にも結びつく必要がない場所では、グレーのほうがよい。

もし都市環境のあらゆる場所に鮮やかな色がつけられていたら、わたしたちの感覚はマヒしてしまうだろう。また室内の灰色の部分を、すべて違う色に塗り替えたなら、混乱と^aヒ^a労で仕事も勉強も手がつかなくなってしまうのではないだろうか。感覚と感情の安定を支えているのは、実は目立たない灰色のほうだ。

つまり灰色は消極的だから役立つているわけだが、人間は灰色をさらに評価することもできる。

1 2 3 4 5
面白いことに人間は、彩りのないさまざまな明るさの灰色だけで表現された風景を見て、それを美しいと感じることができる。

そのひとつは色を差し引くせいで、わたしたちが光と影に^②敏感になることだろう。たとえば新緑の木々から色を差し引いたとたんに、木の葉の重なるの^③微妙な影に気がつく。初夏の海をモノクロームにすると、砂と波が織りなすパターンが見えてくる。

人間の顔もそうである。モノクロームで表現された人間の顔には、肌色とはまた違った趣がある。引き締まった画面の^④陰影が、人柄の深さを表すこともあるし、人生の時間を感じさせせることもある。このように、わたしたちは灰色の無限の段^bカ^bイのなかに、光と影のたわむれを見て楽しむことができる。

こうした感覚は実は昔から存在していたものだろう。都市のなかでいえば、日本や韓国の屋根瓦がそうだ。グレー一色の世界に見えるが、実はそうではない。同じグレーでも、^cノウ^c淡があるし、また天気によっても色が違って見える。山村の瓦と、^dギ^dヨ^d村の瓦が違って見えるのは、環境だけでなく生活のせいでもあるだろう。雲の色を反映して、夏の盛りには強く照り、雨が降ればしつとりと落ち着く。世界の建築のなかでも、これほど豊かな灰色をもった屋根はあまり見当たらない。

おそらく日本は灰色の美しさに目覚め、それを大切に育ててきた文化をもっている。

問1 文中の空欄 1 5 にあてはまる文をそれぞれ次のA～Eの中から一つずつ選びなさい。

- A ささまざまなグレーの段階だけで表現するのだから、正確に言えば、白黒ではなく、灰色写真である。
- B そのひとつが白黒写真である。
- C それにはいろいろな理由が考えられる。
- D だからモノクローム、つまり「単色写真」とも呼ばれる。
- E 白黒写真は言うまでもなく、世界から彩度を差し引いて、明度だけで表現する。

問2 文中の傍線部①～④の漢字の読み方を平仮名で記しなさい。

問3 傍線部a～dのカタカナを漢字で表す時と同じ漢字を用いるのはどれか選びなさい。

a ヒ_レ勞

- ア 彼は無実の罪で役職をヒ_レ免させられた。
- イ 度重なる自然災害によりヒ_レ災者支援が不十分になってきている。
- ウ 人生がヒ_レ劇的か喜劇的かは各自の心のありよう次第だ。
- エ 度重なる戦争で王国はヒ_レ弊していた。
- オ 経ヒ_レ削減も度が過ぎればかえって会社にはマイナスになりかねない。

b 段カイ

- ア お殿様はキザハシの下まで降りて家来に劳いの言葉をかけた。
- イ 中学時代から社カイの特に公民が好きだった。
- ウ 日本のウミの底には多くの地下資源が埋まっているとされている。
- エ 後日アラタめて挨拶に伺います。
- オ あの数学の問題をトけたのはクラスで1人だけだったそうだ。

c ノウ淡

- ア 士ノウ工商という言葉に江戸時代の身分制度が端的に表されている。
- イ 意志を持っているように見えて単に刺激に反ノウしているだけだ。
- ウ あの店は豚骨の出汁をノウ縮して作ったスープが自慢らしい。
- エ 人工知ノウを活用することで今後の新たな医療が開けてくると言われている。
- オ 世界の民間伝承には全知全ノウの神の存在が散見される。

d ギヨ村

- ア 彼は中学・高校と全リヨウ制の学校に通った。
- イ 日本の縄文時代は狩リヨウと採集の時代と言われている。
- ウ 親友と酌み交わす酒のサカナに高級アワビを食べた。
- エ ことわざにある『ウオ心あれば水心』を辞書で調べてみた。
- オ 水産資源保護の観点から底引き網リヨウに批判もある。

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

新道[Ⓐ]をつくるということは、本来の峠道が持っていた限々^{くまぐま}を切つて捨てることである。一本の明快な道が二つの地点を結ぶ。これは他の場所にゆくという用向きにとつてまことに好都合だが、道は通過するためのものとなり、峠道自体としてもつ世界は一掃されて消えうせた。限々など、時として事故を起こしたり、やたらに時間がかかったりする、厄介な代物だからである。

しかし峠道がもつ世界は、古来日本人にとつてきわめて重要であつた。日本人は山道の上り下りの分かれ目に神の存在を信じ、これに手向^①をした。タムケからトウゲということばも生まれ、峠という文字も発明した。しかしろくろ首のような道は、峠の神を殺してしまつた。そもそも日本各地に存在する天生峠^{あもつ}とか安房峠^{あぼう}とかは、峠に立つて太陽をおがんだことによる命名である。西から暗い谷間をよじのぼつて来て峠に立つた時、一躍しておどり出た光の世界に、人々は感謝と祈りをささげた。峠を分かつものは明と暗との世界であつた。私はかつて青山峠に立つて、これを実感したことがある。

いや私だけではない。泉鏡花にも『高野聖』に同じ思想が見える。一人の僧^②が天生峠をこえる途中魔性の女に出会う。女は情欲をおこす男を蝙蝠^{こうもり}や蠶^{ひき}、馬などにかえてしまう。ともに水浴びをした僧も一糸まとわぬ女によつて、危うくかえられそうになりつつ、峠をこえる。

③ 女の世界は人間としての生をとじた物どもの世界、つまり死の世界であり、女は死の大神のごとく振舞う。

だからわれわれは『高野聖』を神話として読むこともできる。女は「古事記」の神話にいうイザナミの神であり、この死の世界にいる女はたずねてきたイザナギという男を逃すまいと追いかけて来る。彼女はヨモツ醜女という女集団を従えているが、それは天生峠の女が魍魅^{ちみ}魍^みをまといつかせているのとひとしい。

馬にされた男は反魂丹^{はんこんたん}という薬を売る男だつた。反魂とは死者の魂をよびかえすこと、よみがえりの薬を売るはずの人間が馬となり売られるという、一種の死をとげる話である。つまり男は反魂^④も空しく幽界に没していったのである。

こうして、死と再生の境にあるのが峠であり、峠をこえることは死から再生することであつた。だから『高野聖』のテーマは峠のトポスを語ることにあり、そのためにはとりわけ天生峠でなければならなかつた、というべきだろう。

いや、^⑤ 私は『高野聖』にこだわりすぎたかもしれない。他にも甲斐の国のことを「なまよみ」と称するのは、半ばの死の国という意味にもとれるし、そのたぐいは多い。

それも、この日本という国土が^①起伏に富み、重畳たる山地を有していることから来る、^②風土への^③省察によるものであろう。風土の隈々に神々を信じ、神々をあがめることによつて風土に^④従順であらうとした畏敬の念によると思われる。

中西進 『峠を考える』

トポス：場所、特に思索根拠となる場所を意味する

問1 傍線部①の本文中における説明として適さないものを次のア～オの中から全て選びなさい。

- ア 旅情を感じることができもの
- イ 安全に目的地に辿り着けるもの
- ウ 感謝と祈りをささげるところ。
- エ 景色を楽しみむゆとりを奪うもの。
- オ 早く目的地に着くためのもの。

問2 傍線部②のどのような神か。本文中から四文字で抜き出しなさい。

問3 傍線部㉓が体現しているものは何か。本文中の言葉で言い換えなさい。

- (1) 一文字で言い換えよ。
(2) 二文字で言い換えよ。

問4 傍線部㉔とはどのような世界か。次のア～オの中から最も適するものを1つ選びなさい。

- ア 生きる希望を失い、生きることを諦めた者たちの絶望的な世界。
イ 男は立ち入ることが許されない女だけの世界。
ウ 女への情欲を満たされなかった男の恨みが積み重なった世界。
エ 女の魔性により男として生きられなくなった者たちの世界。
オ 男に裏切られた恨みをもつ女の情念渦巻く世界。

問5 傍線部㉕とはどういうことか。次のア～オの中から最も適するものを1つ選びなさい。

- ア 死者をよみがえらせることは所詮無理なことだった。
イ 持ち歩いていた薬に救われずに死んでしまった。
ウ 死者を生き返らせる善行も自らの死により成し遂げられなかった。
エ 死んでも幽霊としてこの世に留まることになった。
オ 人から馬へと姿を変えて長生きすることができた。

問6 傍線部⑤とあるが筆者は『高野聖』をどのようにみなしているか。次のア～オの中から最も適するものを1つ選びなさい。

ア 天生峠をこえることで人が再生していく様子を描いている。

イ 生きることへの執着から『高野聖』に没頭している。

ウ 反魂という悪行の報いで女に馬にされた男を僧が再生させている。

エ 日本人が抱いていた峠に対する畏敬の念を表現している。

オ 尊敬する泉鏡花の思想の具現化である。

問7 傍線部①～④の漢字の読みを平仮名で記しなさい。